

議長定例記者会見 会見録

日時：平成29年10月25日 16時05分～

場所：全員協議会室

1 発表事項

みえ現場 de 県議会「文化振興」の開催について

2 質疑項目

みえ現場 de 県議会「文化振興」の開催について

衆議院議員選挙結果について

期日前投票について

1 発表事項

みえ現場 de 県議会「文化振興」の開催について

(議長)お疲れさまでございます。ただ今から、10月の議長定例記者会見を始めさせていただきます。発表事項に入ります前に、この度の台風21号による災害で県内において2人の方がおなくなりになり、6人の方が重軽傷を負われました。また、ピーク時には3千人以上の方が避難を余儀なくされました。被災されました皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧をお祈りいたします。それでは、本日は、みえ現場 de 県議会「文化振興～地域の文化・歴史を後世に伝えるために～」の開催について、発表させていただきます。具体的な内容につきましては、広聴広報会議座長である水谷副議長から説明させていただきます。

(副議長)それでは、私の方から、多様な県民の意見を議会での議論に反映していくことを目的に、関係者や公募の県民の皆さんから直接意見をお聞きするみえ現場de県議会の具体的な内容につきまして、ご説明いたします。お手元の資料をご覧ください。今年度1回目のみえ現場de県議会は、「文化振興～地域の文化・歴史を後世に伝えるために～」がテーマであります。近年、少子化や過疎化の影響により伝統文化の担い手が不足する中、昨年は県内3件の祭りが含まれる「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されるなど、文化の保存・継承・活用の機運が高まっています。そこで、地域の文化活動及び歴史の伝承に関わっている方々や一般公募の県民の方から、後継者の育成や情報発信、独自の資金調達など文化活動に取り組む上での課題や県に期待すること等に関するご意見を直接お聞きし、今後の議会での議論に反映していきたいと考えています。日時は、11月24日(金)10時から12時、場所は、くわ

なメディアライブであります。会議は公開で行い、どなたでも傍聴可能となっておりますので、報道機関の皆様におかれましては、事前の情報発信や当日の取材につきまして、ご協力のほどよろしくお願いいたします。私からの説明は以上です。

(議長) 本日の発表事項は以上です。

2 質疑応答

みえ現場 de 県議会「文化振興」の開催について

(質問) 地域の文化活動や歴史の伝承などに関わっている方3人程度というのは、今のところどなたかというのはありますか。

(副議長) 3名は桑名の方、東員の方、それから四日市の方で一応決定をしております。ただ、公募につきましては、今、31日まで公募中でございますので、現在のところ1名で、あと2名を公募で募集をしておる最中でございます。

(質問) その桑名、東員、四日市の方はどのような文化振興に関わっていらっしゃる方でしょうか。

(副議長) 東員の方は、文化協会で会長を務めている方で、文化の発展にすごく寄与されている方と聞いております。それから、桑名の方は、ユネスコの文化指定されました要するに石取祭に関係する方でございます。もう一人四日市の方は、郷土の文化に携わる方で、特につんつく踊りというのがあるみたいです。日永つんつく踊り、そこでの活躍をされている方というふうにお聞きしています。

衆議院議員選挙結果について

(質問) 衆議院の選挙が終わりました。全国的にみると自民党がほぼ改選前の議席を確保して非常に圧倒的な勝利だったということ、一方県内に関してみると、小選挙区では自民党が2議席、それから無所属の方が2議席を獲得されました。この結果についての受け止めに聞かせていただけますでしょうか。

(議長) 結果は、結果として受け止めなければならないと思いますし、ただ、台風という状況があったといえ、ワースト2の投票率でした。それについては、やっぱり残念であります。加えて、代議士が今まで8人であったのが、5人に減りましたので、5人の代議士の皆さまには、三重県の発展のためにこれからも倍にして頑張っていたいただきたいなと期待しているところです。

(質問)確かに県選出の国会議員という枠の方は減ったわけですが、区割り変更でやむを得ない面もあったと思うんですが、その辺りはどのような影響があるとお考えでしょうか。

(議長)どのような影響というのは。

(質問)8人から5人になったことが県政の運営であるとか、そういったことに対してどのような影響があるとお考えでしょうか。

(議長)国会の中で、定数が四百何人いる、そのうちの8人から5人というのは何らかのやっぱり数という面のときに、何らかの影響はこれから出てくるんだろうなとは思いますが、それぞれの皆さんがしっかりしたベテランの方々ですので、三重県のためにしっかり働いてもらえるんじゃないかと思っています。

(質問)なかなか内容に関してはコメントをいただけないのかもしれませんが、今回異例のかたちですね、野党側が分散したことで無所属の方というのが県民の代表というか、国会に行かれるわけなんですけれども、この間の政治的な動き、県内での機運がどうであったか、一方で無所属の方が行かれるということに関してどう受け止めたかとかありますでしょうか。

(議長)解散前に野党の方がああいうかたちでいくつかに分かれました。選挙結果が出ましたので、これ以降どういうかたちになるかというのが私たちもちょっと想像が付きませんので、当分の間は推移を見守るしかないなと思っています。

(質問)そんなところですか。

(議長)そんなところですよ。

(質問)副議長いかがでしょうか。この選挙に関して。

(副議長)今議長がおっしゃったようにね、8名から5名に減ったと。当然三重県は1選挙区が減ったんで、当然これは1は減するってのはもう分かってたわけなんですけれども、やっぱりあの1名減っているのはやっぱり大きいと思います。いろんな意味でね。例えば三重県の状況というものがね、国政に反映してい

なければならぬ案件がいっぱいあると思うんですよね。そういった点においても多少影響が出るのではなかろうかと。ただ北勢地域がね、（三重県では選挙区が）ひとつ減って、そこ（北勢地域）でもまあ国会議員の先生方が2人減りましたのでね、これも非常に僕は危惧しとるわけですけども。ただまあ、国会議員ですから当然国のためにしっかりと仕事していただくことが第一でありますけれども、この地域、三重県のことについてもね、よく見ていただいて、しっかりと取組をしていただきたいなと、このように思うだけです。

（質問）ちょっと腹を探る質問になるかも知れないですけども、北勢地域と今お話がありましたが、北勢地域は無所属の方が北勢の地盤の方がお二人ということになるわけですが、そのへんのことはいかがでしょうか。

（副議長）私としてはね、非常に残念でありますけれども、これについては結果ですから致し方ないと。ただ、県勢のために無所属であろうと政党の方であろうと、一生懸命取り組んでいただけると私は思っております。（当選者は）無所属でも一人は比例復活されましたので、そういった点では多少の安堵感があります。

（質問）議長という職を担っている立場として、今回の選挙への関わり方とかそういうところで難しさがあつたりとか、どのような立ち位置をとられたかということをお願いします。

（議長）議長ですから公務最優先で今回させて頂きました。勿論のことですけど。

（質問）特に公務に支障とかなかったということですか。

（議長）公務に支障ですか。ありません。

期日前投票について

（質問）議長、たまたま、期日前投票所でお会いしましたが、混乱した状況をご覧になったと思います。今回、災害が近づいている中での難しさがあつたと思うのですけれども、とはいえ、期日前投票所の混乱であるとか、それから、投票率を上げるために期日前投票をもっと便利にする方がいいとか。災害時に野田総務大臣あたりは電子投票等の研究をですね、していくことを発言されたようですけれども、どうでしょう。期日前投票の在り方、災害等選挙とか関係ですね、など考えはありますでしょうか。

(議長) 生まれて初めて期日前投票に行って、裏に名前を書かなあかんというのを初めて知ったんですけども、車椅子の母親と一緒に去了したので当日は台風で行けやんやろうと思て行ったら、すぐ終わると思たら 50 分並ばさせていただいたことになりました。いざ、投票の段階になったときに、いわゆる投票券のチェックですね。あそこの部分が一番ボトルネックになっているなど。投票箱のところじゃなくて、投票用紙を書くところは随分、空いてましたからチェックのところをもう少し、改善をする余地はあるだろうなと身をもて体験させていただきました。基本的には投票事務は市町の方々ですから、今回の反省に基づいて次回、もう少し改善がなされるであろうと期待をしたいと思います。災害については例えば、鳥羽さんが 1 日繰り上げるとか、臨機応変の対応しかないんだろうなと思いますね。

(以 上) 16 時 20 分 終了